

# 被災地方言会話集

— 宮城県宮城郡利府町 —

## <場面設定会話>

### 場面設定会話の概要

収録地点 宮城県宮城郡利府町

収録日時 2012（平成24）年7月17日

収録場所 宮城県宮城郡利府町字中央 利府町生涯学習センター

話題 【場面設定会話】  
全13場面

話者

A	男	1944（昭和19）年	（収録時67歳）	[Bの幼なじみ]
B	女	1940（昭和15）年	（収録時71歳）	[Aの幼なじみ]

話者出身地

A	利府町加瀬（カセ）
B	利府町加瀬（カセ）

【場面設定会話】

話し手

A 男 1944 (昭和 19) 年 (収録時 67 歳)

B 女 1940 (昭和 15) 年 (収録時 71 歳)

〈 あいさつ 〉

(1) 朝、道端で友人に会ったときにどのようなやりとりを行うか。

001A : アー オハイガスー、 マズ。

あー おはようございます、まあ。

002B : オハイガスー。 ナーニ キョーフ テンキイーゴダ。

おはようございます。何[と] 今日は 天気いいこと。

ナーニ スットゴッシャヤ。

何[を] するところですか。

003A : ンー ハダゲサデモ エッテ クサトリデモ スッカド オモッタノッシャ。

んー 畑にでも 行って 草取りでも するかと 思ったのさ。

004B : アー エマ ナニ アンダエデ ウント トレンノ。

あー 今 何 あなたの家で たくさん 取れるの？

005A : ンー ンダネー、マー ニドイモドガ アド (B ンダナガー)

うーん そうだね、まあ 里芋とか あと (B そうなのか)

トメキ° ドガ、 (B ンー) マー アマリ ツクッテイネンダгентモ  
とうもろこしとか、 (B うん) まあ あまり 作っていないんだけども

ホレ。

ほら。

006B : アー ソー。

ああ そう。

(2) 昼、道端で友人に会ったときにどのようなやりとりを行うか。

001A : アーヤ コンヌズワ。

あら こんにちは。

002B : コンヌズワ。アッタケネア キョーネアー。

こんにちは。暖かいね 今日ね。

003A : nder、 チョックラ イーテンキデ マズ。

そうだね、ちょっと いい天気で 本当に。

004B : nderバサー ナンダッテ マズ。キョー イマカラ ナニスツゴ。

そうだよ 何だって まず。今日 今から 何するところ？

005A : イマ ハダゲサ イッテキタドゴナンデガスー。

今 畑に 行ってきたところなんです。

006B : アー アンダエノ ヌドエモ ナニ ウエッタノ。

あー あなたの家の 里芋 何を 植えているの？

007A : ナニ ホラ アー トメキ° ドガ アド (B アー) チャベズドガ

何 ほら あー とうもろこしとか あと (B ああ) キャベツとか

(B アー) ネキ°。イマ クッサ デッダモンダガラ ウント

(B ああ) ネギ。今 草[が] 出ているものだから うんと

クサトリシテキタドゴデガス。(B nderナヤー) イマ

草取りしてきたところです。(B そうなの?) 今

アガッテキタトコダモ。

[終わって]上がってきたところだもの。

008B : nderスカヤ。シメリッケワ アッペシナヤ、 テーンキワ イーベスダガラ

そうですか。湿り気は あるだろうしね、天気は いいしだから

ナンダベネー、クサ (A アー) デンモンネ。

何だろうね、 草 (A ああ) 出るものね。

利府町 場面設定会話

009A : クサ オドゲデネス。  
草 とてつもないし。

010B : オッカケタデネネ。  
追いつかないね。

011A : クサ オドゲデネクサダ ホントス。  
草 すごい草だ 本当に。

012B : シー シートニ オッカゲタデネ。  
うん 本当に 追いつかない。

013A : シー。  
うん。

(3) 夜、道端で友人に会ったときにどのようなやりとりを行うか。

001A : アヤヤ オバンデガスー。  
おや こんばんは。

002B : オバンデガスー。  
こんばんは。

003A : ヤーヤ チョーワ ナニシタドゴッシャヤー。  
おや 今日は 何したところですか。

004B : キョースカー。ンダネー オラー ミンナシテ オジャノミシテキタデバ。  
今日ですか。 そうだね 私は みんなで お茶飲みしてきましたってば。

005A : イーヨネア オジャノミスットゴ アッガラ マズ。  
いいよね お茶のみするところ[が] あるから 本当に。

006B : ンダデバサー、ヤッパリナ トモダジツツノワ アリガデモンダネヤ。  
そうですよ、 やっぱりね 友達というのは ありがたいものだよね。

利府町 場面設定会話

007A : ヤッパリ ソイッタッテ ダイズナコッタガラサー。  
やっぱり それだって 大事なことからさ。

008B : ンダヨー。(A ーン) ナニモカニモサ キョー ウント オモシェゴド  
そうだよ。(A うん) 何もかにもさ 今日 うんと 面白いこと

キーデキタヤー。  
聞いてきたのよ。

009A : ナニ オハナス キーデキタドゴダッタノッシャヤ。  
何[の] お話 聞いてきたところだったのですか。

010B : アンマリ オモシェクテ オシェランネ。  
あんまり 面白くて 教えられない。

〈 ねぎらい 〉

(4) Bが仕事に精を出すAと会い、Aの労をねぎらう際にどのようなやりとりを行うか。

001B : ナーンドাবে Aチャン ガンバッテダンダー。アーンタ ツカレンナヨー。  
何だ Aちゃん 頑張ってるんだ。 あなた 疲れるなよ。

002A : ウーン マズ マ ナットモ コリャコリャナー [1]。ガンバンネド マズ。  
うーん まあ まあ 何とも まあね。 頑張らないと 本当に。

クサワ デデッペス タイヘンナンダゲットモ マズ。  
草は 出ているし 大変なんだけども 本当に。

ドーモアリガトスー。  
どうもありがとうございます。

〈 勧め 〉

(5) Aが、仕事をしているBに、「少し休んでお茶とお菓子でも食べなさい」と勧める際のやりとり。

001A : アー コンヌズワ マズ。  
あー こんにちは まあ。

利府町 場面設定会話

002B : コンニズワー。  
こんにちは。

003A : ナンダイ ズイブン イッショーケンメーダゴダー。 {笑}  
何だい ずいぶん 一生懸命なこと。 {笑}

ナーニ シッタドゴ。   
何 しているところ？

004B : アノサー イマサー ヤス アソソデバリ イランニェガラサー  
あのさ 今さ ×× 遊んでばかり いられないからさ

クサドリシッタッチャヤ。  
草取りしているのよ。

005A : マー ンデモ アレッタガラ スコシ イップグシタラ イーンデネスカ  
まあ それでも あれだから 少し 一服したら いいんでないですか

ココデ。  
ここで。

006B : ンデ Aチャント イッショナラバナヤ、ンデ ヒトヤスミシテ  
それじゃ Aちゃんと 一緒ならね、 それでは 一休みして

007A : ンー (B ネー) イップグシテ。  
うん (B ねえ) 一服して。

008B : ウン。タバゴニデモ [2] スッガワ。  
うん。おやつにでも するか。

009A : ンダネー (B ンー) イップグスサエ マズ。 [3]  
そうだね (B うん) 一服しなさい まず。

〈 訪問時の声掛け 〉

(6) 昼間、BがA宅を訪れるときにどのように声をかけるか。また、返事をするか。

001B : コンニジワー。 イシタガー。  
こんにちは。 いましたか。

002A : アーイ イスター。  
はい いました。

003B : ナヌ スッタドゴ。  
何 しているところ？

004A : ナーニ ココデ ゴロゴロ ネットンデガスー。  
何 ここで ごろごろ 寝ているんです。

005B : アーー ナニ ドゴガ イデドゴデモ アッタノ ホラ。  
あー 何 どこか 痛いところでも あったの ほら。

006A : イヤ、ソナゴドワ ネーダゲントモ (B シー) ナニモ ネーガラ  
いや、そんなことは ないんだけども (B うん) 何も ないから

(B シー) ココデ ネットドゴダッタノ。  
(B うん) ココデ 寝ているところだったの。

007B : アー。ンデナー アンマリ ホラ ツカレネヨニ ユックリ ヤスマセ。  
ああ。それではね あんまり ほら 疲れないように ゆっくり 休みなさい。

008A : ンダネー。ンデモ マダ ネデバリモ イランニエンデガス。  
そうだね。それでも まだ 寝てばかりも いられないんです。

コレカラ ホレ アー (B アー) マタ ハダゲコサデモ。イガネホーガ  
これから ほら あー (B あー) また 畑にでも。 行かないほうが

イーンベゲントモナー。  
いいんだろうけれどもな。

利府町 場面設定会話

009B : アー、ナニ、ナニスッサ イグドゴ。

あー、何、何[を]しに 行くところ？

010A : ナニ スコシ アレモ ホラ ナッパデモ トツテクッカド オモッテッサー。

何 少し あれも ほら 葉っ葉でも 取ってくるかと 思ってさ。

011B : アー ンダネー。ンデ イッテゴザッサエ。

はい そうだね。それでは 行ってきてください。

012A : ンー チョットナレ アト イッテチテ。アドワ

そうだね ちょっとね あと 行ってきて。あとは[=残っているのは]

ソンナ タイシタゴド ネーダベゲントモ スコッタゲントモ [4]

そんな 大したこと ないんだろうけれども 少しだけれども

マズ イッテクッガラ マズ。

まず 行ってくるから まあ。

013B : ンー ンダネー。 (A ハイ) マダ アエスピャ。

うん それではね。 (A はい) また 会いましょう。

014A : アイ ンダネー。ドーモ マズ アリガトゴザイスー。

はい そうだね。どうも まあ ありがとうございます。

〈 借用の依頼と受託 〉

(7) BがAにスコップを借りるときのやりとり。(Aが貸す場合)

001B : コンニジワー。Aチャン イダノー。

こんにちは。 Aちゃん いるの？

002A : アー、オリシタ。

あー、いました。

003B : ンー。アノサー、マゴドヌ モースワゲネゲットサー、シャボロ

うん。あのさ、 まことに 申し訳ないけれどもさ、 スコップ

利府町 場面設定会話

カシテケサイ、 マズ。 [3]  
貸してください、まず。

004A : シー、マー、オラエノ アッゲントモ ナーニ ルーグナ [5] シャブロデ  
うん、まあ、私の家の あるけれども 何 ろくなス Copp では

ネゲットモ、 マズ ツカッテケサイ コエズ コレ。アッカラ マズ。  
ないけれども、まあ 使ってください これ これ。あるから まず。

モーシ ツグドギ [6] イズデモネ。  
もし 使うとき いつでもね。

005B : ンデ マズサ。モースワゲネゲットモ ンデ カリッガラネア。  
それでは まずさ。申し訳ないけれども それでは 借りるからね。

006A : シー、イガス。モッテッテ ツカワイン。  
うん、いいです。持っていて 使ってください。

007B : ハイ。  
はい。

〈 お礼 〉

(8) Bが借りたス Copp をAに返しに行ったときのやりとり。

001B : ア、コンニジワー。  
あ、こんにちは。

002A : ハーイ。  
はい。

003B : Aチャーン。  
Aちゃん。

004A : ハイ。  
はい。

利府町 場面設定会話

005B : キョーワ マズ ドーモアリガドゴザリシター。  
今日は まあ どうもありがとうございました。

006A : イヤイヤ。  
いやいや。

007B : ウント ヤグニタッタデバー。ナンダッテ マズ ワルイガッタネヤー。  
うんと 役に立ったよ。 何だって まあ 悪かったね。

マー、アンマリ マデデワ ネゲットモ アラッテ ケシタガラネ。  
まあ、あまり 丁寧では ないけれども 洗って 返したからね。

シテケサイ。  
してください。

008A : ア ナース、アルーゴド ネガッタノー。 (B ナーニ)  
あ 何、 洗うこと なかったの。 (B 何)

ドシエロ クサレ [7] シャボロッコー (B ナンダー) ナースヌ  
どっちにしる 腐れスコップ (B 何だ) どうして

ワザワザ アラッテキタンダッケナー。  
わざわざ 洗ってきたんだったの。

009B : ナース ホンダッテサー、タント ヤグタッダド アンダ。 (A アー)  
何 そうだっけさ、 たんと 役[に]立ったよ あなた。 (A ああ)

クサレッタッテ ナンダッテ クサレデネガッター。  
腐れているとって[も] 何だって 腐れていなかった。

010A : アー ホガ、 ンデ (B ンー) イガシター。 ホントニ ヤグニタッテモラッテ  
あー そうか、では (B んー) よかったです。本当に 役に立ててもらって

マズ。 マダ  
まず。 また

011B : アリガトゴザリシター。  
ありがとうございました。

012A : シー。イズデモ イーガラ ツカッテケサイン。  
うん。いつでも いいから 使ってください。

〈 破損の謝罪・許容・不満 〉

(9) BがAに借りたスコップを壊してしまい、謝るときのやりとり。

(9-1) Aが構わないという場合。

001A : ナーヌ ソイズナレ、ドーシェ ホンダ フッチャケシャボロッコダッタガラー、  
何 それね、 どうせ そんな 壊れスコップだったから、

ドーシェ ブンナゲット オモッテイダッタンダガスー [8] 。  
どうせ 捨てようと 思っていたんです。

ソナゴド オモテ  
そんなこと 思っ

002B : ソナゴドワネーチャヤー、モーシワゲネガッタナヤー、 (A ナニー)  
そんなことはないよ、 申し訳なかったね、 (A 何)

Aチャーン。  
Aちゃん。

003A : イーノイノー、ホンナノ キニスゴド ネーダガラ。  
いいのいいの、 そんなの 気にすること ないんだから。

004B : イーヤー、ソノウジサー センダェサ イッタラ カッテクッガラサー、  
いいや、 そのうちさ 仙台に 行ったら 買ってくるからさ、

ソレマデ ガマンシテデクナインワー。  
それまで 我慢しててくださいね。

005A : エーノエノ、ホンナゴド チニスゴド ネーガラ、ナーニ キニシタッテ  
いいのいいの、そんなこと 気にすること ないから、何 気にしたって

利府町 場面設定会話

シャーネーガラ。 キニスゴド ネーガラ (B ンダスカヤー) イーガラ。  
しようがないから。気にすること ないから (B そうですか) いいから。

006B : イヤイヤ、モースワゲネガッタナヤー。  
いやいや、申し訳なかったね。

007A : イヤ ホンナゴド ネーガスー。ホンナゴド ネーノ、 イーノイーノ。  
いや そんなこと ないです。 そんなこと ないの、 いいのいいの。

(9-2) Aが破損に対して不満を述べる場合。  
なし [9]

〈 誘いと断り 〉

(10) AがBを温泉に誘う際のやりとり。

(10-1) Bが同意する場合。 [10]

001A : ヤー コンドサ (B ンー) スコシア イギヌギニア ソノヘンサデモ  
やあ 今度さ (B うん) 少し 息抜きに その辺にでも

イッテミッガヤー。  
行ってみるか。

002B : ンダガヤー。マイヌズ カシェーデバリ イランネ。 オモシエグネオンナヤ。  
そうか? 毎日 働いてばかり[も] いられない。面白くないものね。

003A : ンダ。 カシェグナバリ ノーデネーンダー。  
そうだ。働くのばかり[が] 能ではないんだ。

004B : ンダナー。  
そうだね。

005A : ヤッパリ タマニサー、 (B ンー) ンー、ソツツコツツ アルグノモ  
やっぱり たまにさ、 (B うん) んー、そっちこっち 歩くのも

利府町 場面設定会話

イーゴッダッサー、(B ンダー) ナーヌモ ヒヤグマデモ イギネー  
いいことだし、(B そうだ) 何も 百[歳]までも 生きない

(B ンダー) シー ジョーブナウズ イク° ベッチャヤー。  
(B そうだ) うん 丈夫なうち 行こうじゃないよ。

006B : オラモ ツカレタガラサワ、チョードイードギダガラ。ンデ イズ。  
私も 疲れたからさ、 ちょうどいいときだから。それで いつ?

007A : イズテ ンダナー ハエホ イッサナー、イク° ンダッタラバナー。  
いつって そうだな 早いほうが いいね、 行くんだったらばね。

(B ンダナー) ンデ、 コンゲツノ ホラ ニジューゴログヌズゴロ  
(B そうだな) それで、今月の ほら 25、6日ごろ

ナンジョダベヤ。  
どうだろう。

008B : イー。ナニー、ナニ アッタッテ ヤメデ インカラ。  
いい。何、 何[が] あったって やめて 行くから。

009A : ンダナー。デ、 ドッチサ イッテミッペナー。  
そうだな。それで、どこに 行ってみようかね。

010B : ンダナー、ヤッパリ ユックリストゴ (A ンダな) イーデワ。  
そうだな、やっぱり ゆっくりするところ[が] (A そうだな) いいわ。

011A : ホンデ マー、デ マズ オンシェン イーサナー。  
それでは まあ、× まず 温泉[が] いいね。

012B : ンダネー。  
そうだね

013A : デ、フロサデモ ツカッテ (B ンダーンダー) マズ トマッテクッサワネー。  
で、風呂にでも つかって (B そうだそうだ) まず 泊まってくるよね。

利府町 場面設定会話

014B : ンダネ。(A ン) ナヌモ イズヌズバツテネーダツテ イーンダヨ。  
そうだね。(A うん) 何も 1日ばかりでなくたって いいんだよ。

015A : ンダネ。 ナヌ ニサンヌツタツテ オレモ カマネンダ  
そうだね。何 2、3日といたって 私も 構わないんだ。

(B ンダネ) ソイズワ ン。  
(B そうだね) それは うん。

016B : ンデ、 ソースuppeシ。  
それでは、そうしよう。

017A : ンー。  
うん。

(10-2) Bが断る場合。

001A : ヤー、コンドサー ホレ イダ イママデ コダイ イソガスイミシテ [11]  
いや、今度さ ほら ×× 今まで こんなに 忙しい思いして

ント カシェーダガラサー、スコス ホネヤスメデモ エツテ、マー  
うんと 働いたからさ、 少し 骨休めでも 行って、まあ

ソノヘンサ エツテ マズ ヌサンニズ トマツテキタイト  
その辺に 行って まず 2、3日 泊まってきたいと

オモウンダゲントモ、ナンジョダヤー インカヤ。  
思うんだけど、 どうだい 行くかい？

002B : アー、ンダガー。オラモ ウント アーント イク° デーンダゲントモサー、  
あー、そうか。 私も うんと あなたと 行きたいんだけどさ、

オライデ ナンダツテナヤ、ミンナシテ ドコサガ イク° ンダツテ  
私の家で 何だつてね、 みんなで どこかに 行くんだって

利府町 場面設定会話

シャレダゴド カダッテンダオヤー サイキン。  
しゃれたこと[を] 話しているんだものさ 最近。

ンダガラナレ、Aチャン ホイズ ムリダガモシネー。  
それだからね、Aちゃん それ 無理かもしれない。

003A : ンダナー ヤッパリナレ、(B ンー) ワゲシトダズノナー ヤッパリ (B ンー)  
そうだな やっぱりね、(B うん) 若い人たちのね やっぱり (B うん)

スコス アイズモ カンガエデケネドナー。  
少し あれも 考えてやらないとな。

004B : ンダナー。(A ンー ヤッパリー) モースワゲネナヤー。  
そうだね。(A うん やっぱり) 申し訳ないね。

005A : アー、イー نداヨ コイズ ナニ。  
あー、いいんだよ これ 何。

006B : マダ サソッテケサイ マズ。  
また 誘ってください まず。

007A : ウン。マズ ナニ コンカイデネーダッテ マダ ナンカイモ アッガラサー、  
うん。まず 何 今回でなくたって また 何回も あるからさ、

(B ンーンー) ホダラ ホンドキ マダ (B ンー) ツギンドギ (B ンー)  
(B うんうん) それなら そのとき また (B うん) 次のとき (B うん)

マダ  
また

008B : ヨロシグ タノミステ。  
よろしく 頼みますね。

009A : ホンドギ コエ カゲッガラ マズ シトズ、ネー。イッショヌ イク° ヨニ  
そのとき 声 かけるから まず ひとつ、ねー。一緒に 行くように

利府町 場面設定会話

シテケサイ。  
してください。

010B : ハーイ ワガリシタ。  
はい わかりました。

〈 お見舞い 〉

(11) 体調を崩しているBに、Aが体の調子を尋ねる際のやりとり。

(11-1) Bの調子がいい場合。

001A : ナジョダ チョーシ、イーガヤ。  
どうだ 調子、 いいか？

002B : アー ンダネー ナニ コゴサ ネデンノモ ヤンダグナッタドーヤ。  
あー そうだね 何 ここに 寝ているのも 嫌になったもの。

003A : アンマリサー (B うん) ネデバリイテモ ワガンネカラサー、 (B ー)  
あまりさ (B うん) 寝てばかりいても だめだからさ、 (B うん)

スコス チバラスヌ、チョット ホレ ソドサデモ デデ、  
少し 気晴らしに、ちょっと ほら 外にでも 出て、

スコス ソドノ クーキデモ スッターラ イーンデネノガー。  
少し 外の 空気でも 吸ったら いいんじゃないのか。

004B : ンダナエー ナニサ ハヤグ タイインシテーノサワ。ンダゲント  
そうだね 何 早く 退院したいのさ。 そうだけれど

オイシャサンサ、 マー、モースコス オグツーンダナヤー。 (A ア一)  
お医者さん[が]さ、まあ、もう少し 置くと言うんだよね。 (A ああ)

イマワ ドゴモ イデグネーヨーナンダワー。 (A ンダ) ハヤグ エサ  
今は どこも 痛くないようなんだよ。 (A そう) 早く 家に

ケッテグナッタドワヤー。  
帰りたくなったのよ。

利府町 場面設定会話

005A : ンダゲットモナレ、ムリスッコド ネーガラ マズ トモカグ  
そうだけれどもね、無理すること ないから まず ともかく

イシャノ ユーゴド チーデ (B ンー) スコス マズ マー キーアシェネデ  
医者のこと 言うこと 聞いて (B うん) 少し まあ まあ 気持ち焦らないで

マズ、ジックリ マズナ、(B ンー) イシャサ [12] ユートーリニ  
まあ、じっくり まずね、(B うん) 医者× 言うとおりに

ステオイッタホーガ イーンダー。アド マダ タイインシタタテ スーグ マダ  
しておいたほうが いいんだ。あと また 退院しても すぐ また

オッテ スーグ オツケデ ニューインスンデ マダ コマンドドワ。  
追って すぐ 追いかけて 入院するので[は] また 困るんだって。

006B : ンダガヤー。ホンデモ オレガラスット ホラ ナンデ イグナッタヨーナンダ。  
そうか? それでも 私からすると ほら 何だか よくなったようなんだ。

オレ イシャニ ナッタンドワ、キョーカラ。{笑}  
私 医者になつたんだ、きょうから。{笑}

007A : ンデモサ、ンデモ、 トモカグ エーガラ アシェンナ、マズ、イーガラ。  
でもさ、それでも、ともかく いいから 焦るな、 まず、いいから。

(B ンー) ンー。(B ハイ) アシェッテバリ ダメナンダー。  
(B うん) うん。(B はい) 焦ってばかり [いるのが] だめなんだ。

008B : ワガリシター。ドーモドーモ、アリガトゴザリシター。  
分かりました。どうもどうも、ありがとうございました。

(11-2) Bの調子が悪い場合。

001A : ナジョダ、チョーシ。(B ンダネアー) イーガ、ワレガヤ。  
どうだ、調子。(B そうだね) いいか、悪いかよ。

利府町 場面設定会話

002B : ンダネヤー。イーッテイエバ イードゴダダダゲントモサー、  
そうだね。 いいといえば いいところなんだけれどもさ、  
ナンダガ ホントデネーナンダナヤー。  
なんだか 本調子でないんだよな。

003A : ンダガ、カオイロ マーマーナンダダゲントモナー (B ン) ヤッパリナー。  
そうか、顔色[は] まあまあなんだけれどもな (B うん) やっぱりな。

マ ンデー モスコス カガッピョン コレアナー。  
まあ それでは もう少し かかるだろう これはな。

004B : ンダナー、ミンナラド イッション ナッテナー ドコサガ ウーン  
そうだね、 みんなと 一緒に なって どこかに うーん

アソブサデモ イク° ヨーダラ イーndaダゲントモナヤ。  
遊びにでも 行くようなら いいんだけれどもな。

005A : マー イグナッガラ、トヌカグ イグナッカラ スンペースネデ、マー  
まあ よくなるから、とにかく よくなるから 心配しないで、 まあ

チーアシェンネデ トモカグ ジックリサー マズ イシャサ カガッテ  
気持ち焦らないで ともかく じっくりさ まず 医者に かかって

ニューインシテ ナオサネド ナオ ワガンネ、ホンナゴッテナエ。  
入院して 治さないと ×× だめだ、 そういうことではね。

006B : ンダネー。コンナモノガナー、ビョーギニナルツツーノワネア。  
そうだね。 こんなものかな、 病気になるというのはね。

ナサゲネーモンダステヤー。  
情けないものだからしてね。

007A : ンダダゲントモ シャーネンダ コイズナヤ。 (B ン)  
そうだけれども しょうがないんだ これは。 (B うん)

利府町 場面設定会話

ダレモ グアイワレグ ナッテナレ、(B シー) グアイワレグ ナッテクテ  
だれも 具合悪く なってね、(B うん) 具合悪く なりたくて

ナルシト イネンダガラ、マズ シャーネーッタズー。 [13]  
なる人 いないんだから、まず 知らなかったよ。

008B : ミンナラサ メーワグカゲル マズ。  
みんなに 迷惑かける 本当に。

009A : マー キニスネデサー、(B シー) アマリ チモムナ、 マズ イーガラ。  
まあ 気にしないでさ、(B うん) あまり 気[を]もむな、まず いいから。

(B ハイ) シー。 ジックリ マズ。  
(B はい) うん。 じっくり まず。

010B : アリガドゴザリス。  
ありがとうございます。

011A : ウン。  
うん。

〈 申し出 〉

(12) 体の調子が悪く、家の片付けもできないというAに、Bが「(私が)片付けてやろう」というときのやりとり。

001B : ナーニ Aチャーシ ネットンダッテガー。  
何 Aちゃん 寝ているんだって？

002A : ンダー、チョットナレ カゼッコ シーデサー。(B シー ンデ)  
そうだ、ちょっとね 風邪 ひいてさ。(B うん それでは)

マー タイシタゴドネード オモッタダゲントモ (B ウン) マズ  
まあ たいしたことないと 思ったんだけども (B うん) まず

ネデロズーガラサー、スコシ {舌打ち} ヤスンダホーガ イーノガナード  
寝てろというからさ、少し {舌打ち} 休んだほうが いいのかなと

利府町 場面設定会話

オモッテ イマ ネッダンダー。  
思って 今 寝ているんだ。

003B : ネッダホー イーッテ、ズヌスネデ ハイッタガラ、カダズゲナンカ  
寝ているほう[が] いいって、気にしないで 入ったから、片付けなんか

オレ シテケッガラ、アンスンシテ ネデロー、イーガラ。(A シー)  
私が してやるから、安心して 寝ている、いいから。(A うん)

ナヌ メ メデワリードゴワ ミネガラヤー、メデイードゴバリ ミデ  
何 × 見てだめなところは 見ないから、見ていいところだけ 見て

カダズゲデケッカラ。  
片付けてやるから。

004A : アー デモ ワルイナー、ンダゲットモサー。マー ホレ ホラ ヌサンヌズ  
あー でも 悪いなー、 そうだけれどもさ。まあ ほら ほら 2、3日

スット イーグナッペガラ (B ウン) ホレガラデモ イーンダー  
すると よくなるだろうから (B うん) それからでも いいんだ

カダズゲンノモ。ナニ イマ スグヌ カダズゲネタッテ ドーツツーゴド  
片づけるのも。何 今 すぐに 片付けなくたって どうということ

ネーダガラサー。  
ないんだからさ。

005B : イーガラ チーモマネデ ネデロテバサー。オレ シテケルツーンダガラ。  
いいから 気[を]もまないで 寝てろってばさ。私[が] してやるというんだから。

イー、(A オー) アイ、タノミスーッテ イワセワ。  
××、(A おー) はい、頼みますって 言いなさいよ。

006A : ンダガヤ。アー ワルイナヤー ンダゲットモナー。  
そうですか。あー 悪いねー そうだけれどもな。

利府町 場面設定会話

ンデ、 シトツマズサー オネガイスッサー。  
それで、ひとつまずさ お願いするさ。

007B : ンー。ハイ イーガッサー。ホラ ンデ ユックリ ネデサイン。  
うん。はい いいですよ。 ほら それでは ゆっくり 寝てなさい。

008A : アー アリガドデスー。 (B ハイー) ドーモアリガトネヤ。  
あー ありがとうございます。 (B はい) どうもありがとうね。

〈 禁止 〉

(13) 片付けの最中に、大事な写真をBが間違っ捨てようとしているときに、Aがそれを  
制止してどのようにいうか。

(13-1) 話し合っ捨てないほうがいいという場合。

001B : ヤーヤ Aチャンヤーー イッペー シャシン アンダゲントモナヤーー、  
あら Aちゃん いっぱい 写真 あるんだけども、

コイナノモ アイナノモ アー ンー イーゴダナー。  
こういうのも ああいうのも あー うん いいことね。

コイナジダイモ アッタノガヤー。 [14]  
こんな時代も あったのか。

002A : ナヌ、ホノ シャシンダッテサー ズイブン アンダゲットモ  
何、 その 写真だってさ 随分 あるんだけども

マー イラネノモ アンダゲットモ、 ンデモ ナガニサー ナガナガ ホレ  
まー 要らないのも あるんだけども、でも 中にさ なかなか ほら

オモイデニ ノゴル シャスンモ アルモンダガラ、 {息を吸う音} マズ スコシ  
思い出に 残る 写真も あるのだから、 {息を吸う音} まず 少し

ナ アドデ セーリスッカド オモッテワ イダッタンダー。 (B ンー)  
× 後で 整理しようかと 思っては いたんだ。 (B んー)

利府町 場面設定会話

オレ マズ イグナッタラバ (B ウン) マズ セーリシテ アドー マ  
私 まず よくなったら (B うん) まず 整理して あと まあ

ショリデモスッペド オモッテワ イダッタンダゲットモ、ナガナガ コレ  
処理でもしようと 思っては いたんだけど、 なかなか これ

ミナ ナゲルワゲニモ イガネンダーツ。  
全部 捨てるわけにも いかないんだという。

003B : ンダナー ンデ テー ツケネドワ コイズワニヤー、 (A ンー)  
そうだね それでは 手 つかないよ これはね、 (A うん)

Aチャン。  
Aちゃん。

004A : ンダガラ (B ウン) ソイズダゲ (B ウン) ソイズダゲ (B ウン) ホレア  
だから (B うん) それだけ (B うん) それだけ (B うん) ほら

ソノヘンノ スマッコサデモ オイデデケネ。  
その辺の 隅っこにでも 置いておいてくれない？

005B : ハイ、ワガッタ。ンデー コンド イーグナッテガラー (A ウン)  
はい、分かった。それでは 今度 よくなってから (A うん)

アンタ シロワ。 コイズワ テー ツケネガラワナー。  
あなた しなさいね。これは 手 つかないからね。

006A : ンー ンダネ。 ソーシテモラウド ウント イーンダ、オレモ。  
うん そうだね。そうしてもらおうと うんと いいんだ、私も。

(13-2) Aの孫が写真を捨てそうになったのを慌てて制止する場合。

001A : アー マッテロ マズ ホイズ、ナーニ ホイズ ダ ダ ワガンネ。  
あー 待ってろ まず それ、何 それ × × だめだ。

利府町 場面設定会話

ナニ ダイジナモンダガラ ホイズ ダメダ ナゲデー。  
何 大事なものだから それ だめだ 捨てて[は]。

ダイジヌスッタモンダガラヤー。  
大事にしているものだからよ。

## 宮城県宮城郡利府町方言会話集（場面設定会話）注記

[1] コリャコリャナー

「これはこれは」 > 「コリャコリャ」と考えられるが、「コリャコリャ」に実質的な意味はなく、間投詞的な表現となっている。

[2] タバゴニデモ

「タバコ」で「おやつ」の意。

[3] マズ

利府町において「マズ」は、共通語の「まず」とは異なり、「まあ」「本当に」などの間投詞のように用いられている。ここでは「まあ」「本当に」などとも訳せないため、「まず」のままにしてある。

[4] スコッタгентモ

「スコットダ」の「トダ」が縮まって「タ」に聞こえる。

[5] ルーグナ

「ローグナ」とも聞こえ、「ル」と「ロ」の間のような発音がされている。

[6] ツグドギ

「ツグ」は「ツカウ（使う）」の連母音 [au] が融合して [u:] となり、それが [u] と短くなったものと考えられる。

[7] クサレ

「腐れ」であるが、実際にさびたり腐ったりしているわけではなく、自分の物を謙遜して言っている表現。

[8] オモッテイダッタンダガスー

「イダッタンダ」は言いさしで、「ガスー」を後づけしたような言い方になっている。恐らく「イダッタンデガス」（いたんです）と言おうとしたものと思われる。

[9] なし

相手に不満を述べることはないとのこと。

利府町 場面設定会話

[10] 温泉に誘う

既婚の男女が知り合いの異性を旅行などに誘うことはないとのことだったため、ここでは夫婦の会話ということで演技している。

[11] イソガスイミシテ

「忙しい身をして」という表現で、話者によると「忙しい思いばかりして」という意味とのこと。

[12] イシャサ

「医者に」に当たるが、「ユートーリニ（言うとおりに）」につながらない。話者によると、「医者さん」の縮まった形ではないとのことなので、言い間違いと思われる。

[13] シャーネーッタズー

「シャーネー」は、文脈からは「しようがない」と思われるが、話者によると、「知らない」であるとのこと。

「ズー」は共通語の終助詞「よ」に近い意味。「という」が語源と考えられる。

[14] アッタノガヤー。

演技で相手にターンを渡す意識が強く出たため、イントネーションが不自然になっている。

宮城県宮城郡利府町方言会話集（場面設定会話）担当者

収録担当者 川越めぐみ（東北大学大学院文学研究科産学官連携研究員）  
佐藤 亜実（東北大学大学院文学研究科博士前期課程 2 年）  
袁 曉犇（東北大学大学院文学研究科博士前期課程 1 年）  
柴田 充（東北大学文学部 3 年）

文字化担当者 川越めぐみ（東北大学大学院文学研究科産学官連携研究員）  
佐藤 亜実（東北大学大学院文学研究科博士前期課程 2 年）  
袁 曉犇（東北大学大学院文学研究科博士前期課程 1 年）